

# 第2学年2組 国語科学習指導案

## 1 単元名 かたかなの ひろば

## 2 児童の実態と本単元の意図

本学級の児童はこれまでに、一年上巻「かたかなを みつけよう」で初めて片仮名を学習している。そこで、片仮名で書く言葉と平仮名で書く言葉があることを知り、濁音や半濁音、促音についても、読み方と書き方を学習している。また、その後も一年上巻「くじらぐも」や「日づけと よう日」などの教材で、継続的に片仮名を学んでおり、長音・拗音を含め、ほとんどの片仮名は既習である。

本教材では「しゃわー」は正しくは「シャワー」と表記することを理解するだけでなく、実際に文中で使えるようにすることをねらいとしている。そのために、使用する言葉を限定したり、選び出したりさせながら繰り返し短文をつくらせたい。さらに、これらの語句が片仮名表記であることに慣れさせたい。

本単元を指導するにあたって、小学校指導要領の第1学年及び第2学年の「B書くこと」の指導事項「ウ 語と語や文と文との続き方に注意しながら、つながりのある文や文章を書くこと。」を中心に指導を行っていく。そのために、片仮名の書かれている絵のなかの言葉を使って文をつくるという活動を設定する。本教材には、運動や体育に関わる言葉が出てくる。どの語もなじみがあるものの、児童は片仮名で書くのか平仮名で書くのかはあまり意識はしていないだろう。こういった言葉を片仮名で書くかは今後学習することなので、的確に使い分けることは難しいと思われるが、本教材のような学習を積み重ねることによってどのような言葉を片仮名で書くかという意識が自然に形成されていくことを期待する。また、片仮名を正しく書くだけでなく、本教材を通して、主述の整った文章を書く力も高めていきたい。

本時では、「かたかなのことばをつかって 文を書こう。」というめあてをたて、片仮名の読み方や書き方を確認した後、教科書の絵をもとに、片仮名の言葉の文を書くという活動を行う。

## 3 単元の目標

○片仮名を読んだり、書いたりして、「何が」「どうする」が整った文を書くことができる。

## 4 単元の評価規準と学習活動に即した評価規準

|  |            |        |            |
|--|------------|--------|------------|
|  | ア 国語への関心・意 | イ 読む能力 | ウ 言語についての知 |
|--|------------|--------|------------|

|                                      | 欲・態度                                                                      |                                 | 識・理解・技能                               |
|--------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------|---------------------------------|---------------------------------------|
| 評単<br>価元<br>規の<br>準                  | ・提示された片仮名を読み、それが示すものを、楽しみながら絵の中から探そうとしている。                                | ・主語と述語の整った文を書いている。              | ・片仮名を正しく使っている。                        |
| 即学<br>し習<br>た活<br>評動<br>価に<br>規<br>準 | ①教科書の絵を見て、動物たちの行動や様子を想像しながら話をし、長音、促音、拗音、濁音、半濁音を片仮名で表記するときの決まりを確かめることができる。 | ①片仮名を使い、「なにが」「どうする」が整った文がかけている。 | ①絵と片仮名で書かれた言葉を見て片仮名の言葉を使った文を書くことができる。 |

## 5 指導と評価の計画（全2時間扱い） 本時1／2時

| 時 | 主な学習活動                                                                    | 学習内容                                              | 評価規準・評価方法                                 |
|---|---------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------|-------------------------------------------|
| 1 | ○教科書の絵を見て、動物たちの行動や様子を想像しながら話をし、長音、促音、拗音、濁音、半濁音を片仮名で表記するときの決まりを確かめることができる。 | ○想像を基に話をつくること。<br>○長音、促音、拗音、濁音、半濁音を片仮名で表記するときの決まり | ◎提示された片仮名を読み、それが示すものを楽しみながら絵の中から探そうとしている。 |
| 2 | ○絵と片仮名で書かれた言葉を見て片仮名の言葉を使った文を書くことができる。                                     | ○文章の書き方                                           | ◎主語と述語の整った文を書いている。<br>◎片仮名を正しく使っている。      |

## 6 本時の学習指導（本時1／2時）

### （1）目標

○片仮名で書く言葉に興味をもち、片仮名を使って、主語・述語が整った文を書くことができる。

### （2）展開

| 学習活動                                                                                                                         | 学習内容           | 指導と評価の創意工夫                                                                                              | 時間   |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------|------|
| 1 本時のめあてを知る。                                                                                                                 |                |                                                                                                         | 5 〃  |
| ㊟ かたかなのことばをつかって 文を書こう。                                                                                                       |                |                                                                                                         |      |
| 2 絵を見ながら片仮名の読み方や書き方を確認する。                                                                                                    | ・既習の片仮名の確認     | ○出た言葉を黒板に書くことで、文を書くときの手助けになるようにする。<br>○片仮名の言葉を発音することで、促音や拗音、長音などを、目と耳でとらえるようにする。<br>○音と表記を結びつけるようにする。   | 5 〃  |
| 3 主述の整った文を確認する。                                                                                                              |                | ○以下の文を提示し主述の整った文とは何か、子どもたちに判断させるようにする。<br>・「何が」のない文（ゴールをめざして はしっています。）<br>・「どうしている」のない文（犬がゴールをめざしています。） | 10 〃 |
| 3 教科書の絵をもとに、片仮名の言葉を使って文を書く。<br>C1 ぶたが シャワーをあびている。<br>C2 うさぎが スキップをしています。<br>C3 さるがくまやパンダとサッカーをしています。<br>C4 ねずみとくまがリレーをしています。 | ・主述の整った文を書くこと。 | ○教科書の言葉以外（「ボール」や「シュート」「パンダ」など）も使ってよいこととする。<br>◆片仮名で書く言葉に興味をもち、片仮名を使って、主語・述語が整った文を書くことができる。              | 10 〃 |
| 4 班で発表しあう。                                                                                                                   |                | ○「何が」「どうしている」がきちんと書かれているかチェック項目として、お互いに確認させあうようにする。                                                     | 5 〃  |
| 5 全体で発表する。                                                                                                                   |                | ○互いの文の良さや違いに気づき、発想が広がるようにする。                                                                            | 5 〃  |

|                     |  |                                                                 |  |
|---------------------|--|-----------------------------------------------------------------|--|
| <p>6 本時のまとめをする。</p> |  | <p>○片仮名をつかって「何が」「どうする」の文がきちんと書けたこと、これからも積極的に片仮名を使っていくことを促す。</p> |  |
|---------------------|--|-----------------------------------------------------------------|--|

7 備考 在籍児童数 35名